

瀬戸内海
4県共同運営

離島の命守り 60年

診療船「済生丸」医療を提供

瀬戸内海に浮かぶ島々 和海など医療に恵まれ

に住む島民たちの健康 ない人に医療を提供し

を、半世紀以上にわた ってきました。運行を始

り守り続けている診療 めた同船は当初、診療

船があります。それは が中心でしたが病気の

済生会今治病院（喜田 予防を重視するため現

村7）が共同運営する 在は、主に検診をおこ

診療船「済生丸」です。 なっています。 もいます。

済生丸は1962年 船内には、診察室や 来年60年を迎える節

に就航。瀬戸内海や宇 X線撮影室などの検診 目のを前に同病院の
松野剛院長は「あらゆる人々に、手をさしの

▲離島などを巡回する診療船「済生丸」



べる済生の心で医療に
努めたい」と話してい
ます。